

## 紫波総合高校自転車部が インターハイで快挙



(左から)佐藤選手、侘美教育長、熊谷町長、中野選手、高橋選手

平成29年度全国高等学校総合体育大会(東北総体2017)の自転車競技に出場し、トラックレースの2種目で優勝を飾った紫波総合高校の選手3人が9月5日、チーム・スプリントで獲得したメダルを持って熊谷町長と侘美教育長のもとを訪問しました。

自転車競技トラックレースは、7月27日から29日まで福島県いわき市のいわき平競輪場で行われ、男子1000mタイムトライアルに出場した中野慎詞選手が自己ベストの1分5秒308で優勝を飾りました。

また、1チーム3人で競う男子チームスプリントに出場した中野慎詞選手(3年)、高橋慶多選手(3年)、佐藤威吹選手(2年)のチームが1分17秒280のタイムで優勝。紫波総合高校は学校対抗でも4位に入りました。

大会2冠を達成した中野選手は「1000mタイムトライアルは3年間得意としてきた競



3選手がそれぞれの力を出し切ったチーム・スプリント  
(提供:㈱P&P浜松)



1000mタイムトライアルで2位に1秒以上の差をつけて優勝した中野選手  
(提供:㈱P&P浜松)

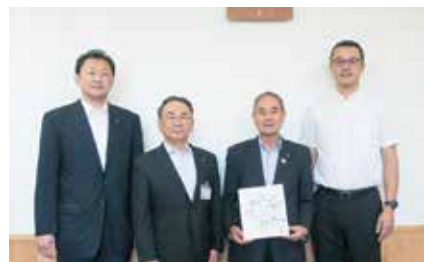


1000mタイムトライアルの表彰台で笑顔を見せる中野選手(中央)  
(提供:㈱P&P浜松)

技なので優勝できてとてもうれしかったです。10月に愛媛県で開催される国体ではスプリントに出場するので、大会記録の更新と優勝を目指します。また、平成32年東京オリンピックやその次のオリンピックでメダルを獲得することが目標です」と語りました。高橋選手は「チーム・スプリントで優勝した瞬間は驚きもありましたが、うれしさでいっぱいでした。自転車部の練習は辛くて心が折れそうになっただけでもありませんが、仲間との練習が楽しく、3年間続けることができると振り返りました。佐藤選手は「先輩たちと一緒に走ることができてうれしかったです。プレッシャーもありましたが、先輩が『俺たちに任せて』と言ってくれたので安心して走ることができました。国体でも表彰台を目指すとともに、先輩たちに頼らず自分の力で勝てるようになりたいです」と今後の意気込みを語りました。



気合の入った様子で試合形式の練習を行った選手たち(8月31日)



(左から)矢島委員長、侘美教育長、熊谷町長、中垣内監督

また、9月4日には全日本男子バレーボールチームの中垣内祐一監督と男子強化委員会の矢島久徳委員長が熊谷町長と侘美教育長のもとを訪問。合宿の感想を聞かれた中垣内監督は「体育館と食堂、ジムが近くにあり、効率良く練習ができました。選手からは『集中できる環境で練習することができ、コンディションが上がった』という声も聞かれました」と話しました。

## 全日本男子バレーボール チームが紫波町で合宿

全日本男子バレーボールチームが8月29日から9月4日まで、オガールベースで合宿を行いました。この合宿は9月12日から名古屋市と大阪市で開催される「ワールドグランドチャンピオンズカップ2017」に向けたもの。キャプテンの深津英臣選手は「オガールベースは宿泊施設と体育館の距離が近く、とても良い環境で練習させていただき、感謝しています。若いチームで心配だということもあるかと思いますが、自分たちのバレーをすれば結果はついてくると思います」と自信を見せました。石川祐希選手は「右手はとても涼しく、バレーボール専用体育館で試合をイメージした練習ができました。大会ではエースとして点を取り、皆さんに勝っている姿をお見せしたいです」と意気込みを語りました。